

第26期

ISFJ政策フォーラム

Inter - university Seminar for the Future of Japan
2021

ISFJ日本政策学生会議

Index

目次

タイムスケジュール	p.2
代表挨拶	p.3
理念・沿革	p.4
論文の評価について	p.5~p.6
分科会別・参加論文一覧	p.7~p.16
コメンテーター・論文審査員一覧	p.17~p.22
ISFJ参加募集	p.23
Memory of ISFJ2021	p.24
第26期 運営委員	p.25
後援団体・協賛企業	p.28

Time Schedule
タイムスケジュール



2nd day(Dec.12)

会場 : zoom

9:45~10:00	受付
10:00~10:15	開会・開会式
10:15~10:30	協賛紹介・発表班発表
10:40~11:20	1班目発表・質疑応答
11:20~12:00	2班目発表・質疑応答
12:00~13:00	休憩
13:00~14:00	各種受賞班発表・表彰式
14:00~15:00	総評
15:00~	閉会式

Message

代表あいさつ



共に明日を切り拓く

近年の新型コロナウイルス感染拡大は、経済、社会保障、私たちの心身など、多方面に影響をもたらしています。急速に変化する暮らしや働き方に対応するための方法は、様々に考えられるのではないのでしょうか。

ISFJは、多くの大学、学生が日本の現状に立ち向かい、未来の環境をより良いものとすることができる政策を提言し、新時代を担う者として社会に影響を与えることのできる団体を目指しています。そのために、産官学それぞれの領域から学生の政策提言に対してアドバイスをいただき、勉強会や中間カンファレンス、中間発表会などで専門家の方との議論を重ね、じっくりとブラッシュアップして政策フォーラムにて発信いたします。

今年でISFJの活動は26年になります。こうしてこの団体を長く続けることができたのも、参加研究会の皆様や、各大学の先生方、ご指導いただいたシンクタンクの皆様、並びに協賛してくださっている企業の皆様のおかげであります。ご支援いただきます多くの方々にISFJを代表して感謝いたします。私たちの活動が少しでも社会に影響を与えられるよう精進してまいります。

ISFJ日本政策学生会議第26期東日本代表 ISFJ日本政策学生会議第26期西日本代表

上智大学経済学部3年

清末吉紀

南山大学総合政策学部3年

渡邊美樹

「学生の政策提言による望ましい社会の実現」を目指して

ISFJ日本政策学生会議では、日本の未来を考える志高い学生たちの政策立案の支援と、政策の実現に向けた発表の機会を提供しています。

一般に政策とは、政治家や官僚といった国や自治体組織の担当者により慎重に考えられ、立案・提言されるものです。しかし、政策とは社会全体のためにあるのであり、政策担当者による一元的な立案・実現だけでは望ましい社会の実現をすることはできないと私たちは考えます。

その点において、学生による政策提言を積極的に行うことには大きな意味があると考えています。それを支援することが、ISFJ日本政策学生会議の役目です。

- 1994年 慶應義塾大学「竹中平蔵研究会」中室牧子氏の提案により、ISFJの原型「21世紀の日本を考える会」結成
＜5大学/7研究会＞
- 2002年 組織名を「ISFJ日本政策学生会議」に変更
＜16大学/37研究会＞
- 2003年 初の関西シンポジウム開催
＜20大学/41研究会＞
- 2004年 論文掲載本の出版
＜19大学/52研究会＞
- 2007年 論文掲載本の出版(学生からの政策提言2007)
＜26大学/66研究会＞
- 2009年 政策提言会を開催
＜26大学/57研究会＞
- 2011年 広報部設立、政策合宿を実施
経済産業省・農林水産省の方々に直に提言を行う
＜25大学/69研究会＞
- 2013年 政策フォーラム、政策提言ツアーの実施
フォーラムでは年々論文のレベルが上がっているとの評価をいただき、高評価を受けた政策を観光庁へ提言
- 2015年 20周年を迎える
＜25大学/54研究会＞

Evaluation

最優秀賞、優秀賞、奨励賞の審査方法の紹介

■ 審査の過程



【一次審査】全ての論文を審査

また、各分科会から点数評価の最も高い論文を選定

【二次審査】一次審査で選定された論文を審査し、上位10本の論文を選出

【特別論文審査会議】二次審査で選出された論文から、優れた論文5本を選出

また、選出した5本の論文から

最優秀賞(1本)、優秀賞(1本)、奨励賞(3本)を決定

■ 2021 年度 論文評価システム

最優秀賞、優秀賞、奨励賞：下記項目の論文審査のみで評価

分科会賞：下記項目で60点分を評価

- | | |
|--|---------------------------------|
| A) 論文全体を通して、論旨が一貫し、読者にわかりやすい説明がなされているか。 | G) 分析結果が適切に解釈されているか。 |
| B) 学術論文としての形式が整っているか。 | H) 政策提言が分析に基づいて行われているか。 |
| C) 現状分析を通して、何が問題なのかを明らかにしているか。 | I) 政策の効果が定性的、定量的に示されているか。 |
| D) 先行研究のレビューに基づいて、論文の位置づけ、独自性が述べられているか。 | J) 政策の限界や実施に当たっての問題点等が議論されているか。 |
| E) 現状分析と先行研究のレビューに基づいて分析の枠組み、検証すべき仮説等が適切に設定されているか。 | |
| F) 分析に使用するデータ、推定方法が適切に選択されているか。 | |

■ 審査の過程



【一次審査】全ての論文を審査、60点満点で採点

【プレゼンテーション】政策フォーラム1日目のプレゼンテーションを40点満点で採点。
一次審査の採点結果とプレゼンを受けての採点結果から
分科会賞を選出

■ 2021 年度プレゼンテーション評価項目

最優秀賞、優秀賞、奨励賞：論文審査のみで評価

分科会賞：下記項目で40点満点で評価

①発表内容についての審査

- 1)現状分析を通して何が問題なのかを明らかにしているか。
また、先行研究のレビューに基づいて、論文の位置づけ・独自性が述べられているか。
- 2)現状分析と先行研究のレビューに基づいて、分析の枠組み、検証すべき仮説等が適切に設定されているか。
- 3)分析に使用するデータ、推定方法が適切に選択され、分析結果について適切に解釈されているか。
- 4)政策提言が分析に基づいて行われているか。
- 5)政策の効果が定性的、定量的に示されているか。また、政策の限界や実施に当たっての問題点等が議論されているか。

②発表スキル・スタイルについての審査

- 1)発表スキルとして、聞き手に伝わる発表ができているか。また、質問に対する対応が適切かどうか。
- 2)発表スタイルとして、資料内容が上手く表現されているか。また、誤字脱字がなく、正確に表記されているか。

Paper List

分科会別・参加論文一覽

総数

26分科会

20大学

37研究会

98班



Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
介護			
千葉	後藤剛志	松本侑己	訪問介護職員の早期離職率低下のために
上智	釜賀浩平	都筑紫帆	介護職員の人材確保対策
一橋	佐藤主光	飛鷹遼	介護人材不足を解決する 介護ボランティア制度についての提言
環境・エネルギー①			
神戸	松林洋一	鳥山雅史	再生可能エネルギーの経済に与える影響
大阪	大槻	鯉沼花帆	太陽光発電モジュールのリサイクルに関する 持続可能性評価と促進政策
東北学院	倉田洋	眞壁悠輝	太陽光発電事業における 地域経済付加価値分析
南山	鶴見哲也	石川萌絵	身近な自然との触れ合い機会の創出
環境・エネルギー②			
慶應義塾	松浦寿幸	馬越美怜	日本国内における環境・ESG情報開示 義務化に向けて
神戸	松林洋一	山川諒	脱炭素社会実現に向けたROC企業分析
慶應義塾	土居丈朗	平川翔太	再生可能エネルギーの導入拡大を踏まえた 2030年の電源構成の検討
南山	寶多康弘	鈴木農士	持続可能なミックス古紙の処理方法

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
環境・エネルギー③			
大阪	赤井伸郎	平野翔	容器包装プラスチックのリサイクル促進 ～プラスチック資源の有効利用を目指して～
千葉	後藤剛志	鍬間翔太	持続可能な廃棄物処理事業に向けて
上智	釜賀浩平	佐川友紀	食品ロスの半減に向けて ～消費者の意識と廃棄行動の視点～
日本	立福家徳	大橋広基	家庭内食品ロスの削減に向けて
観光			
熊本県立	本田圭市郎	柳田綾香	観光振興による観光需要の平準化
日本	鶴田大輔	萩原黎	MaaS活用による観光活性化は可能だろうか
明治	千田亮吉	隼田亮	アドベンチャーツーリズムの推進策
関西学院	栗田匡相	稲田優花	コロナ禍での新観光施策としての マイクロツーリズムについて
教育①			
慶應義塾	田邊勝巳	石村来未華	民間委託による効率的な学校給食の 提供を目指して
明治	畑農鋭矢	中島由真莉	大学進学率上昇のための塾活用
関西学院	栗田匡相	中江健介	アクティブラーニングによる授業形態の差が 中学生の進路決定自己効力感に与える影響 ～差の差分析を用いた介入実験～
明治学院	西村万里子	牛田優富	学力・学習意欲向上からみた 教育政策に関する考察
慶應義塾	土居丈朗	後藤健志	教育格差是正に向けた年代別アプローチ

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
教育②			
創価	金澤伸幸	京澤夏子	収入格差による教育機会の不平等改善を目指して -スタディクーポンの導入と面談義務化の提案
明治	加藤久和	ジシカ	経済的困難世帯への大学進学 の機会拡大を目指して
早稲田	須賀晃一	金森光紀	学力格差是正における学校外での 諸活動の要因分析と政策
日本	立福家徳	堀内勇歩	地域間教育格差の是正 —都道府県データを用いた実証—
明治	齋藤雅己	野澤涼弥	労働市場の変化に対応するための学び直し促進
金融・財政①			
慶應義塾	櫻川昌哉	大西理久	コロナウイルス感染症収束後の 日本の財政健全化
明治	千田亮吉	古川和晶	ふるさと納税の財政立て直し効果について
慶應義塾	土居丈朗	小林柁慶	これからの観光業を創る
金融・財政②			
東北学院	白井大地	日下向燿	住宅保有が家計のリスク金融資産投資に 及ぼす影響
日本	鶴田大輔	塚越理弘	ポストコロナにおける望ましい 中小企業金融政策
法政	小黒一正	竹内梨乃	キャッシュレス決済普及による 経済成長に向けて

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
経済産業①			
龍谷	中森孝文	清水正喜	飲食店におけるひと手間の研究
慶應義塾	松浦寿幸	小林千隼	日本における起業促進策の検討
関西学院	栗田匡相	松下宗平	経営者のレジリエンスがコロナ禍における 企業パフォーマンスに及ぼす影響 ～電力消費の変動から考える～
熊本県立	本田圭市郎	杉本幸穂	国内製薬企業における新薬開発の促進
経済産業②			
同志社	三好博昭	三好世真	日本の農業の生産性向上に向けて ：リモート農業と法人化の推進
東北学院	倉田洋	犹守亮	日本の労働生産性向上への政策提言
法政	小黒一正	筒井浩太	ジェンダー格差解消による経済成長
行政			
大阪	赤井伸郎	三林彪気	民間事業者の視点を汲んだPFIの実施推進
同志社	三好博昭	松井玄	政治力の世代間格差の是正
明治	畑農鋭矢	星山遥香	コロナ禍における公共政策が感染状況及び 家計消費に与える影響の実証分析 ～アフターコロナに向けて～
大阪	大槻	西内彩花	キャッシュレス化が特殊詐欺被害に 与える影響と対策
法政	小黒一正	油井あや	女性議員の割合と経済成長について

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
国際			
同志社	風間規男	中岡仁	母国のカリキュラムに沿った 外国籍児童生徒の教育制度の提案
関西学院	栗田匡相	片山あかり	在日外国人の防災意識向上の ためのコミュニティ形成
関西学院	西立野	西方大介	「貿易のための援助」の有効性
社会保障①			
東北学院	白井大地	久保健太	子育て支援制度が結婚選択に与える影響
南山	水落正明	川上航輝	結婚意欲があるのに結婚しないのはなぜか
明治	千田亮吉	大橋拓真	正規雇用の促進による 母子世帯への経済援助政策
慶應義塾	土居丈朗	西村直樹	ひとり親世帯に対する時間 貧困の社会保障制度の構築
社会保障②			
南山	水落正明	泉森	自殺の規定要因に関する研究
日本	立福家徳	中邑颯汰	現代の環境に対する高齢者の就業決定
慶應義塾	山田篤裕	山田健太郎	健診を受けていないのは誰か
日本	豊福建太	角岡琴音	予防の視点から見た医療費の削減
南山	寶多康弘	彦坂実乃里	子ども医療費助成制度の拡充効果 子どもの健康向上と子育て世帯の 移住地選択

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
----	-----	-----	------

地方創生①

早稲田	須賀晃一	中澤朝陽	コンパクトシティの実現を目指して
-----	------	------	------------------

千葉	後藤剛志	阿部洋輔	人口減少時代の地方に向けたコンパクトシティ
----	------	------	-----------------------

東北学院	倉田洋	塩谷新	地方への本社移転促進を目指して
------	-----	-----	-----------------

明治学院	西村万里子	浦口博暁	自治体と企業による空き家の 持続可能な活用に関する考察
------	-------	------	--------------------------------

地方創生②

明治	千田亮吉	吉野魁人	起業家創出支援による地方創生
----	------	------	----------------

同志社	三好博昭	内藤航太	アフターコロナにおける 人々の居住地選択
-----	------	------	-------------------------

慶應義塾	山田篤裕	宮森勇多	医師の地域偏在の解消 ～電子カルテ導入の効果～
------	------	------	----------------------------

地方創生③

日本	豊福建太	長濱脩人	地方創生～関係人口増加のための 望ましい地域のあり方～
----	------	------	--------------------------------

明治	加藤久和	佐藤由佳	地方交付税の過剰調整是正
----	------	------	--------------

早稲田	須賀晃一	山田千晴	観光と地方創生
-----	------	------	---------

関西学院	栗田匡相	松並璃子	親の地域愛着が子どもの地域愛着に 与える影響とその構成要因 ～奈良県御所市を事例に～
------	------	------	--

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
農林水産			
南山	鶴見哲也	渡邊美樹	納品期限切れ加工食品販売 構造構築による食品ロス削減
慶應義塾	田邊勝巳	遠藤彰悟	農地集積によって 農業の効率化は目指せるのか
一橋	佐藤主光	林尚太	農地政策改革による、 農業法人化の推進
都市交通①			
金沢	藤澤	戸井田昌樹	電気自動車普及の要因分析
慶應義塾	田邊勝巳	川島由有伽	シェアサイクルの多角的視点による実態把握
千葉	後藤剛志	根来朋広	安全で快適な自転車利用環境創出に向けて
都市交通②			
同志社	三好博昭	堤章太郎	無人自動運転による物流システムの再構築 その効果と推進に向けての政策
神戸	松林洋一	矢野里奈	神戸空港国際化に向けて
東北学院	倉田洋	菊田大翔	自動車部門のポートフォリオ最適化による 現実的なCO2削減目標と補助金規模
早稲田	須賀晃一	水口幸生	デマンド型交通の持続可能な運営に向けて

Paper List

分科会別・参加論文一覧

大学	研究会	代表者	タイトル
労働雇用①			
大阪経済	岡島成治	仲野哲平	女性のパフォーマンスを高める環境とは？ ～STEM職に着目して～
明治	畑農鋭矢	藤井優一	男性の育児休業に関するミクロ計量分析
創価	金澤伸幸	高木龍二	父親の家事・育児参加が母親の就業意思に 与える影響の実証分析 ～母親が希望する働き方で働ける社会の実現～
南山	鶴見哲也	今泉菜々子	望ましいテレワークの在り方
労働雇用②			
日本	豊福建太	佐々木千潤	企業がWLB向上に取り組む必要性
慶應義塾	山田篤裕	久保田耕平	改正高齢法の新たな雇用確保措置の評価 ：より豊かな70歳までの就業実現のために
慶應義塾	田邊勝巳	加藤祐生	トラックドライバー不足の解消に向けて
明治	齋藤雅己	出口哲大	コンパクトシティ中心部への人の移動促進
労働雇用③			
関西学院	西立野	長嶋宙	地域別最低賃金の引き上げが 未婚者の結婚行動に与える影響
日本	鶴田大輔	藤澤道隆	企業価値を向上させる 同一労働同一賃金制度の提案
関西学院	亀田啓悟	吉田尚悟	労働生産性向上による企業の 人手不足緩和を目指して
大阪経済	岡島成治	加藤駿弥	男女賃金格差における差別要因分析 ～女性活躍の推進を目指して～察

Examiner List

コメンテーター・論文審査員一覧

東西中間発表会コメンテーター
政策フォーラムコメンテーター
論文審査員
特別論文審査員



Examiner List

コメンテーター 一覧

○東西 中間発表会コメンテーター（敬称略）

◆財政	鶴田大輔 勝悦子	日本大学経済学部教授 明治大学政治経済学部専任教授
◆金融	津田栄 荻野義雄	皇學館大学特別招聘教授 ジャパンインベストメントアドバイザー執行役員
◆行政	加藤久和 縣公一郎	明治大学政治経済学部専任教授 早稲田大学政治経済学術院教授
◆労働雇用1	金明中 川田恵介	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員 東京大学社会科学研究所准教授
◆労働雇用2	白井邦彦 土肥原洋	青山学院大学経済学部教授 亜細亜大学経済学部経済学科教授
◆労働雇用3	楠田弥恵 川上淳之	横浜市立大学客員研究員 東洋大学経済学部経済学科准教授
◆労働雇用4	水落正明 金澤伸幸	南山大学総合政策学部総合政策学科教授 創価大学経済学部講師
◆労働雇用5	山田修 岸智子	キャリアコンサルタント産業カウンセラー 南山大学経済学部経済学科
◆経済産業	松崎隆司 松浦寿幸	経済ジャーナリスト 慶應義塾大学産業研究所准教授
◆国際	鈴村裕輔 甲斐素直	名城大学外国語学部准教授 日本大学法学部非常勤講師
◆社会保障1	千田亮吉 今野広紀	明治大学商学部専任教授 日本大学スポーツ科学部准教授
◆社会保障2	三好博昭 楊小平	同志社大学政策学部政策学科教授 島根大学国際交流センター特任講師
◆地方創生1	堀内史朗 本田圭市郎	阪南大学国際観光学部国際観光学科教授 熊本県立大学総合管理学部総合管理学科准教授
◆地方創生2	村岡敬明 立福家徳	明治大学研究・知財戦略機構研究推進員 日本大学法学部政治経済学科准教授
◆観光	平賀一希 山田一人	名古屋市立大学大学院経済学科経済専攻准教授 法政大学大学院特任研究員
◆都市交通1	荒谷太郎 近藤恵介	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所主任研究員 独立行政法人経済産業研究所上席研究員
◆都市交通2	田邊勝巳 今井龍一	慶應義塾大学商学部教授 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授

Examiner List

コメンテーター一覧

◆環境防災エネルギー1	黄光偉 鈴木高広	上智大学大学院地球環境学研究科教授 近畿大学生物理工学部生物工学科教授
◆環境防災エネルギー2	中條覚 松添直隆	東京大学空間情報科学研究センター特任准教授 熊本県立大学環境共生学部教授
◆環境防災エネルギー3	荒田鉄二 小川健	公立鳥取環境大学環境学部教授 専修大学経済学部准教授
◆環境防災エネルギー4	爲近英恵 崔青林	名古屋市立大学経済学研究科経営学専攻准教授 国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員
◆医療介護1	田村潤 河野敏鑑	常翔学園広島国際大学健康科学部医療経営学科教授 専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科准教授
◆医療介護2	高山一夫 山内直人	京都橘大学経済学部教授 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
◆教育1	浅沼茂 吉田文	東京福祉大学教育学部特任教授 早稲田大学教育・総合科学学術院教授
◆教育2	石黒万里子 木田竜太郎	東京成徳大学子ども学部教授 愛知学泉大学家政学部こどもの生活学科教授

Examiner List

コメンテーター 一覧

○分科会コメンテーター（敬称略）

◆金融・財政1	鶴田大輔	日本大学経済学部教授
◆金融・財政2	津田栄	皇學館大学特別招聘教授
◆行政	勝悦子	明治大学大学院政治経済学研究科教授
◆労働雇用1	荒渡良	同志社大学経済学部准教授
◆労働雇用2	甲斐素直	日本大学大学院法務研究科教授
◆労働雇用3	亀田啓悟	関西学院大学総合政策学部総合政策学科教授
◆労働雇用4	金明中	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員
◆労働雇用5	岸智子	南山大学経済学部経済学科教授
◆国際	金澤伸幸	創価大学経済学部講師
◆経済産業1	山田修	キャリアコンサルタント産業カウンセラー
◆経済産業2	田中喜行	神戸大学経済学研究科准教授
◆経済産業3	鈴木恭子	東京大学大学院学際情報学府博士課程研究者
◆経済産業4	寺村絵里子	明海大学経済学部教授
◆経済産業5	小野浩	一橋大学経営管理研究科国際企業戦略専攻教授
◆国際	楠田弥恵	横浜市立大学客員研究員
◆経済産業1	服部篤子	同志社大学政策学部政策学科教授
◆経済産業2	鹿毛理恵	沖縄国際大学経済学部経済学科准教授
◆経済産業3	松田絢子	関西大学経済学部准教授
◆経済産業4	松浦寿幸	慶應義塾大学産業研究所准教授
◆経済産業5	松崎隆司	経済ジャーナリスト
◆社会保障1	荻野義雄	ジャパンインベストメントアドバイザー執行役員
◆社会保障2	立福家徳	日本大学法学部政治経済学科准教授
◆社会保障3	三好博昭	同志社大学政策学部政策学科教授
◆地方創生1	河野敏鑑	専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科准教授
◆地方創生2	川村匡由	武蔵野大学名誉教授
◆地方創生3	佐久間美智雄	東北文教大学短期大学部子ども学科教授
◆観光	村岡敬明	明治大学研究・知財戦略機構研究推進員
◆都市交通1	堀内史朗	阪南大学国際観光学部国際観光学科教授
◆都市交通2	市島宗典	岩手県立大学総合政策学部准教授
◆環境防災エネルギー1	林靖人	信州大学学術研究院教授
◆環境防災エネルギー2	石井吉春	北海道大学公共政策大学院客員教授
◆環境防災エネルギー3	出川真也	大正大学エンrollment・マネジメント研究所地域創生学部専任講師
◆介護	平賀一希	名古屋市立大学大学院経済学研究科経済専攻准教授
◆教育1	東徹	立教大学観光学部教授
◆教育2	倉橋透	獨協大学経済学部経済学科教授
◆農林水産	近藤恵介	独立行政法人経済産業研究所 研究員
	荒谷太郎	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所主任研究員
	後藤孝夫	中央大学経済学部教授
	岡田啓	東京都市大学環境学部教授
	鈴木高広	近畿大学生物理工学部生物工学科教授
	松添直隆	熊本県立大学環境共生学部環境共生学科環境資源専攻教授
	中條覚	三菱総研スマート・リージョン本部先進都市インフラグループ
	爲近英恵	名古屋市立大学経済学研究科経営学専攻 准教授
	根井寿規	政策研究大学院大学政策研究科教授
	西立野修平	関西学院大学総合政策学部国際政策学科准教授
	中澤秀一	東京基督教大学 神学部国際キリスト教福祉学科キリスト教福祉学専攻教授
	山内康弘	近畿大学経済学部総合経済政策学科教授
	安藤寿康	慶應義塾大学文学部人文社会学科教授
	京免徹雄	筑波大学人間系助教
	石黒万里子	東京成徳大学子ども学部教授
	深見俊崇	島根大学教育学部准教授
	作山巧	明治大学農学部専任教授
	伊藤房雄	東北大学大学院農学研究科農学経営経済学分野教授

Examiner List

論文審査員一覧

○論文審査員一覧（敬称略）

◆金融・財政

小黒一正 法政大学経済学部教授
 白井大地 東北学院大学経済学部経済学科講師
 小原篤次 長崎県立大学国際社会学部国際社会学科准教授
 竹本拓治 福井大学地域創生推進本部教授
 蟹澤啓輔 明海大学経済学部講師
 畑農鋭矢 明治大学商学部教授
 財務省財務総合政策研究所特別研究官

入谷貴夫 宮崎大学地域資源創成学部教授
 井田大輔 桃山学院大学経済学部経済学科教授
 上ノ山賢一 桃山学院大学経済学部経済学科准教授
 土肥原洋 亜細亜大学経済学部経済学科教授
 西村 佳子 京都産業大学経済学部教授

◆行政

大谷基道 獨協大学法学部総合政策学科教授
 田口一博 新潟県立大学国際地域学部国際地域学科准教授
 松林哲也 大阪大学国際公共政策研究科教授
 田中啓 静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科教授
 佐々木弾 東京大学社会科学研究所教授

◆労働雇用

森川正之 一橋大学経済研究所教授
 独立行政法人経済産業研究所所長
 町北朋洋 京都大学東南アジア地域研究研究所
 グローバル生存基盤部門准教授
 野坂博南 関西大学経済学部経済学科教授
 永井隆雄 産業・組織心理学者
 奥山尚子 横浜国立大学大学院環境情報研究院
 松尾孝一 青山学院大学経済学部教授
 中島敬方 近畿大学経営学部キャリア・マネジメント学科教授
 山田篤裕 慶應義塾大学経済学部教授
 八代尚宏 昭和女子大学生生活機構研究科
 福祉社会研究専攻特命教授

小林徹 高崎経済大学経済学部准教授
 中村健一 小樽商科大学商学部経済学科 准教授
 洪性奉 就実大学経営学部講師
 室賀貴穂 九州大学大学院経済学研究院 講師
 水落正明 南山大学総合政策学部総合政策学科教授
 川上淳之 東洋大学経済学部経済学科准教授
 松原仁美 静岡大学人文社会科学部経済学科准教授
 石田賢示 東京大学社会科学研究所准教授
 横内陳正 東京大学社会科学研究所助教

◆経済産業

杉浦勝章 下関市立大学経済学部経済学科教授
 浅田義久 日本大学経済学部教授
 川浦昭彦 同志社大学政策学部政策学科教授
 池上甲一 近畿大学農学部名誉教授
 武田巧 明治大学大学院政治経済学研究科教授
 西村淳一 学習院大学経済学部教授
 久保研介 慶應義塾大学商学部准教授

◆国際

石黒靖子 兵庫県立大学国際商経学部国際商経学科教授
 大田英明 立命館大学国際関係学部国際関係学科教授
 藤井孝宗 高崎経済大学経済学部教授
 中田勇人 明星大学経済学部経済学科教授
 新宅公志 広島修道大学経済学部経済学科准教授

◆観光

田中伸彦 東海大学観光学部観光学科教授
 栗原剛 東洋大学国際観光学部国際観光学科准教授
 近藤祐二 大阪商業大学総合経営学部
 中村忠司 東京経済大学コミュニケーション学部教授
 太田均 大阪観光大学観光学部観光学科講師
 小澤孝人 東海大学観光学部観光学科教授

◆社会保障

益子行弘 浦和大学社会学部総合福祉学科准教授
 梅谷進康 桃山学院大学社会学部社会福祉学科准教授
 萩原里紗 明海大学経済学部 講師
 林行成 常翔学園広島国際大学健康科学部医療経営学科教授
 宮本恭子 島根大学法文学部教授
 伊藤善典 埼玉県立大学保健医療福祉学部教授
 金碩浩 山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科講師
 金川めぐみ 和歌山大学経済学部経済学科教授
 藤本健太郎 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科 教授
 長野博一 福島大学経済経営学類特任准教授

◆地方創生

足立基浩 和歌山大学経済学部経済学科教授
 上野美咲 和歌山大学経済学部経済学科講師
 石村知子 とよなか都市創造研究所主任研究員
 野村淳一 山口大学経済学部経済学科大学院担当准教授
 佐野淳也 大阪成蹊大学経営学部公共政策コース准教授
 橋本行史 関西大学政策創造学部政策学科教授
 中村祐司 宇都宮大学地域創生科学研究科・博士前期課程
 社会デザイン科学専攻コミュニティデザイン学
 プログラム教授
 矢部拓也 徳島大学総合科学部教授
 浅川達人 早稲田大学人間科学学術院人間科学部教授
 山口洋典 立命館大学共通教育推進機構教授
 山口純哉 長崎大学経済学部准教授
 太田隆之 静岡大学人文社会科学部准教授
 江口昌伍 福岡大学経済学部講師
 田原洋樹 明星大学経営学部特任教授
 朝水宗彦 山口大学経済学部観光政策学科教授

Examiner List

論文審査員一覧

○論文審査員一覧（敬称略）

◆介護

川越雅弘 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科教授
 石川智基 医療経済研究機構 研究部主任研究員
 村橋功 桃山学院大学社会学部社会福祉学科准教授
 三浦虎彦 上智社会福祉専門学校介護福祉士科教員
 大石恵子 上智社会福祉専門学校介護福祉士科教員

◆環境防災エネルギー

奥島真一郎 筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授
 銭学鵬 上智大学大学院地球環境学研究科教授
 寶多康弘 南山大学経済学部経済学科教授
 野口良造 筑波大学大学院生命環境科学研究科
 国際地縁技術開発科学専攻准教授
 荒田鉄二 公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授
 清水みゆき 日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科教授
 沼田大輔 福島大学人文社会学群経済経営学類
 経済学コース准教授
 崔青林 国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員
 申東愛 北九州市立大学法学部政策科学科教授
 田中昭雄 熊本県立大学環境共生学部環境共生学科
 居住環境専攻教授
 野原克仁 北星学園大学経済学部経済学科教授
 武田育郎 島根大学生物資源科学部環境共生科学科教授
 松波淳也 法政大学経済学部経済学科教授

◆農林水産

橋口卓也 明治大学農学部専任教授
 北野慎一 京都大学農学部農学研究科准教授
 白川雄三 大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部経済学部教授

◆教育

八木匡 同志社大学経済学部経済学科博士後期課程教授
 荒井英治郎 信州大学教職支援センター准教授
 腰越滋 東京学芸大学教育学部准教授
 岩井八郎 京都大学名誉教授
 吉永潤 神戸大学発達科学部教授
 西本裕輝 琉球大学グローバル教育支援機構教授
 俣野秀典 高知大学 地域協働学部／大学教育創造センター
 豊福建太 日本大学経済学部教授
 青木麻衣子 北海道大学教育学部准教授
 及川雅斗 早稲田大学 教育学部助教兼
 ソーシャル&ヒューマン・キャピタル研究所(WISH)
 研究所員
 松戸結佳 早稲田大学 教育学部 教育心理学専修助手

◆都市交通

河野達仁 東北大学大学院情報科学研究科教授
 松崎朱芳 千葉商科大学商経学部専任講師
 桑野将司 鳥取大学工学研究科教授
 太田志乃 名城大学経済学部産業社会学科准教授
 李明哲 福岡大学経済学部教授
 吉田樹 福島大学人文社会学群経済経営学類経済学コース准教授
 宇都宮清人 関西大学 経済学部教授
 戸崎肇 桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授
 岸昭雄 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科准教授
 福山敬 鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授
 浅田義久 日本大経済学部教授

○特別論文審査員一覧

加藤久和 明治大学政治経済学部教授
 八塩裕之 京都産業大学経済学部教授
 千田亮吉 明治大学商学部教授
 本田圭市郎 熊本県立大学総合管理学部教授
 佐藤主光 一橋大学大学院経済学研究科・経済学部教授
 赤井伸郎 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

Call for ISFJ

ISFJ参加募集

ISFJ参加ゼミ募集

ISFJ日本政策学生会議は、「学生の政策提言による、望ましい社会の実現」を目指して活動するインゼミ形式の政策シンクタンクです。政策提言を通して、学生という立場から社会を変えていくことを目的としています。

現在、ISFJ2022年における参加研究会を募集しています。参加される場合、毎年8月初旬に行われる中間カンファレンス、9月下旬～10月初旬に行われる中間発表会、12月初旬に行われる政フォーラムに向けて、論文執筆を進めていただきます。

学生という立場を最大限に生かして社会を変えていく理念に共感し、高い問題意識を持った学生が毎年多く参加しています。多くの研究会のご参加をお待ちしています。

ISFJ運営委員募集

ISFJ日本学生会議では、2022年度(第27期)の運営委員を募集しています。ISFJは20年以上の歴史ある団体であり、日本最大規模の学生政策立案コンテストを企画・運営しています。

運営委員は主に事業企画部・研究室担当部・渉外部・広報部の4つの部署に分かれ、仕事を行います。参加者・講師などの大人数を相手にして、組織を運営していくことや、官僚、学者、シンクタンク研究員、民間企業など社会の最前線の方々との関わりを持つことは、自分の将来のビジョンを描く上でとても貴重な経験となります。論文執筆での参加をされない方もお気軽にお声かけください。

ご興味をお持ちの方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

Memory of ISFJ2021

東日本

- ・ 中間発表会 9月26日 ZOOM

西日本

- ・ 中間発表会 9月26日 ZOOM



Staff 運営委員

東日本代表 清末 吉紀 上智大学
西日本代表 渡邊 美樹 南山大学

〈東日本支部〉

事業企画部 長濱 脩人 日本大学(部長)
嶋田 将也 早稲田大学
中川 佳祐 明治学院大学
研究室担当部 渡邊 綾 早稲田大学(部長)
生田 淳之介 千葉大学(部長)
高橋 玲奈 日本大学
鈴木 剛至 明治大学
広報部 相澤 匠 東北学院大学(部長)
佐々木 千潤 日本大学

渉外部 森 結菜 慶応義塾大学(部長)
林 尚太 一橋大学
飛鷹 遼 一橋大学
田中 大成 慶応義塾大学
衣川 光 慶応義塾大学
十倉 亮 慶応義塾大学
上野 舜介 慶応義塾大学
海老原 大輔 慶応義塾大学
信太 優里奈 慶応義塾大学
大木 拓真 慶応義塾大学
山室 慶剛 慶応義塾大学
田中 亮成 慶応義塾大学
野口 巧人 早稲田大学
中里 駿 早稲田大学
松崎 航大 上智大学
橋本 恭典 上智大学
小倉 健暉 明治大学
山崎 詩織 明治大学
矢野 麦 明治大学
姚 智博 明治大学
井上 諒生 明治大学
鶴田 和希 明治大学
国谷 知加 明治大学
柴田 百合香 明治大学
山口 有彩 明治大学
西村 琴葉 明治大学
古本 健悟 明治大学
神田 玲 明治大学
村瀬 啓太 明治学院大学
吉水 菜々花 法政大学
鷺原 七海 法政大学
角岡 琴音 日本大学
木村 彩香 日本大学
堀内 勇歩 日本大学
関根 啓 日本大学
見角 理那 日本大学
富永 大和 日本大学
菅野 望羽 東北学院大学
岩倉 朱里 東北学院大学
千葉 大輝 東北学院大学
本田 太輝 東北学院大学
佐藤 滉翔 東北学院大学
関司 諒斗 創価大学
福島 絵梨果 創価大学

〈西日本支部〉

事業企画部 渡邊 美樹 南山大学(部長)
渉外部 中山 輝 熊本県立大学(部長)
吉兼 千晴 南山大学
笠場 愛尋 大阪大学
平野 翔 大阪大学
土井 麻由佳 神戸大学
藤井 翔太 神戸大学
金田 百寧 同志社大学
本間 義明 同志社大学
高田 凌介 同志社大学
中岡 仁 同志社大学
前田 咲紀 同志社大学
大藤 ななみ 関西学院大学
上田 瑞葵 関西学院大学
濱田 聖来 関西学院大学
金谷 菜楓 関西学院大学
熊野 尚哉 金沢大学
戸井田 昌樹 金沢大学
牛田 遥香 熊本県立大学
馬場 佳希 熊本県立大学
奥野 綾佳 南山大学
BOONCHOUY Thitima 南山大学
松川 奈那美 南山大学
濱口 菜月 南山大学
松下 陸斗 南山大学
浅井 萌 大阪経済大学
森岡 大成 大阪商業大学

《メモ》

《メモ》

Partnership
後援団体・協賛企業

後援

公益財団法人 松下政経塾

ISFJ日本政策学生会議